

みずほCustomer Desk Report 2016/10/05 号(As of 2016/10/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.05 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.85	1.1210	114.18	0.9740	1.2861	0.7684
SYD-NY High	102.96	1.1239	115.38	0.9828	1.2861	0.7691
SYD-NY Low	101.57	1.1138	113.93	0.9730	1.2720	0.7608
NY 5:00 PM	102.90	1.1206	115.32	0.9789	1.2727	0.7619
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.13/11.48		△25RR	0.663	Yen Call Over	
NY DOW	18,168.45	▲ 85.40	債券市場	日本2年債	-0.2780	▲0.3bp
NASDAQ	5,289.66	▲ 11.22		日本10年債	-0.0720	▲0.4bp
S&P	2,150.49	▲ 10.71		米国2年債	0.8215	3.0bp
日経平均	16,735.65	136.98		米国5年債	1.2271	4.9bp
TOPIX	1,340.21	9.49		米国10年債	1.6864	6.4bp
シカゴ日経先物	16,770	120.00	為替市況	独10年債	-0.0540	3.9bp
ロンドンFT	7,074.34	90.82		英10年債	0.7790	4.6bp
DAX	10,619.61	108.59		豪10年債	2.0690	11.5bp
ハンセン指数	23,689.44	105.01		USD/CNH	6.6939	0.0156
上海総合	-	-		ドルインデックス	96.15	0.45
USDJPY 3M Vol	11.89	0.16%	商品市況	CRB指数	187.304	0.27
USDJPY 6M Vol	11.50	0.11%		NY金	1,269.700	▲43.00
EURJPY 3M Vol	12.11	0.20%		WTI	48.690	▲0.12
EURJPY 6M Vol	12.11	0.16%		Dubai Spot	47.60	▲0.16

東京	東京時間朝方よりドル円はBID地合が続き、前日高値を上抜ける中、東京時間のドル円は101.85レベルでオープン。リスクセンチメントの改善を受けた日経平均株価の上げ幅拡大を背景に、ドル円は102円台乗せを試す展開。102円ちょうど近辺のトレンドラインが意識され同水準では一旦止められたものの、ストップロスオーダーを巻き込む形で102円を明確に上抜けると、一時102.39まで上昇した。しかし、同水準では日足一目均衡表の雲下限(102.22)が改めて意識され、102円ちょうど近辺まで押し戻される。その後は再度雲下限水準まで値を戻し、結局102.25レベルにて海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は102.25レベルでオープン。ポンド安や原油高の恩恵から英株が約1年5ヵ月ぶりの高値圏で推移し、また独大手銀行の主要顧客が同銀を支持する姿勢を示したことから休場明けの独株も堅調推移する中、ドル円も買われ102.55まで上昇。同水準にてNYに渡った。ポンドは1.2822レベルでオープン後、1.28台を割れる展開。31年ぶりの安値を更新すると、底の見えない下落トレンドに突入したとのムードが強まり、1.2757まで下落。その後、英9月建設業PMIが52.3(予想:49.0)に上昇し5月以来となる分岐点(50)を上回る結果に英ポンドは1.2789まで小幅に買い戻されるも、反応は一時的で下落トレンドを反転させるには至らず。1.2737まで安値を更新し、1.2747レベルにてNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は102.55レベルでNYオープン。朝方は堅調な推移が続き、短期的なレジスタンスであった102.50レベルを上抜けると102.88まで上昇。その後、関係筋からECBが2017年3月まで予定されていた債券購入プログラムのについて経済見通し次第でテーパリングを早めるとのヘッドラインが伝わったことでユーロが急伸すると、ユーロ買いドル売りの流れからドル円は102.62まで下落。その後はユーロドルが反落する展開に、ドル円は一時102.96まで上昇し高値更新するも、103円台手前では上値を抑えられる格好となり、102.90レベルにて海外市場に渡った。一方、ユーロドルは1.1163レベルでNYオープン、ECBが早期にテーパリングを開始することを検討との報道を受け一時1.1239まで上昇。しかしながら正式決定では無いことから積極的に上値を追っていく展開とはならず、1.12ちょうど水準まで値を戻した後は同水準近辺での揉み合い推移となり、1.1206レベルにて海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高田・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月4日	10:30	ウィーラー-RBNZ総裁講演	-	-
	12:30	RBA政策金利発表	1.50%	1.50%
	17:30	マークイット建設業PMI	9月 52.3	49.0
	21:05	ラッカー・リッチモンド連銀総裁講演	-	-
	-	国際通貨基金(IMF) 世界経済見通し公表	-	-
	-	大統領選、副大統領候補 テレビ討論会	-	-

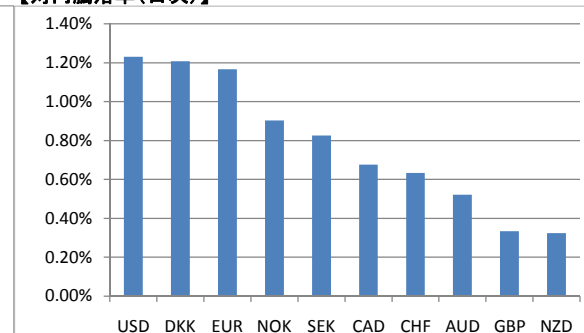
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月5日	9:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
	16:55	マークイット総合/サービス業PMI・確報値	9月 52.7/50.6	52.7/50.6
	17:00	マークイット総合/サービス業PMI・確報値	9月 52.6/52.1	52.6/52.1
	17:30	マークイット総合/サービス業PMI・確報値	9月 52.3/52.2	53.6/52.9
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 165K	177K
	21:30	米 貿易収支	8月 -\$39.2B	-\$39.5B
	22:30	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 挨拶	-	-
	22:45	マークイット総合/サービス業PMI・確報値	9月 -/51.9	52.0/51.9
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	9月 53.0	51.4
	23:00	米 製造業受注指数	8月 -0.2%	1.9%
10月6日	6:00	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.90—103.50	1.1140—1.1240	113.50—115.70

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間はドルが総じて堅調な展開。英国政府のEU離脱姿勢がGBP安を招く状況下、リッチモンド地区連銀総裁からのタカ派的な発言等を材料にFRBの利上げ観測が台頭し、ドル/円は102円台後半まで上伸した。本日のドル/円は、引き続き下値が徐々に切り上がる展開を予想するも、今週末に米9月雇用統計の発表を控えており、上値は限定的であろう。